

災害に備えて「自助」「共助」

大雨や台風による土砂災害・浸水害などが心配される時期となりました。災害に対しては、「自助」「共助」「公助」の3本の柱で備えることが重要です。

特に、災害発生直後の身の安全に直結するのは「自助」「共助」です。大雨・台風シーズンに向けて、事前の備えを心がけ、災害発生時に備えましょう。

ハザードマップを確認しましょう

洪水や土砂災害に対して町が発する避難指示等は、原則、ハザードマップの区域内の方が対象です。災害発生時に落ち着いて対応できるよう、ハザードマップで、ご自宅などが浸水想定区域や土砂災害想定区域に該当するかを必ず事前に確認しておきましょう。



茨城町防災関係各種マップ

ハザードマップのほかに、避難所一覧等を掲載しています。



我が家のタイムラインを作成しましょう

近年、台風などによる記録的な大雨が全国各地で相次ぎ、大規模な水害や土砂災害が発生しています。茨城県内でも、平成27年9月関東・東北豪雨や令和元年東日本台風等の災害発生時に、避難が間に合わず、「逃げ遅れ」となってしまう事案が発生しています。各家庭において、「逃げ遅れ」を防ぐためにやるべきことを確認しておく「我が家のタイムライン」を事前に作成しておきましょう。



茨城町ホームページ「我が家のタイムラインを作ろう」

誰でも簡単にマイ・タイムラインを作成するためのツールを掲載しています。

備蓄品と非常持出品

- ・災害が発生すると、電気、ガス、水道などのライフラインが使えなくなったり、物流が機能しなくなったりするおそれがあります。最低でも3日間、できれば1週間程度の食料・飲料水を家庭で備蓄しておきましょう。
- ・いつでも持ち出せるように、下の表を参考に、あらかじめ非常持出品をリュックサックなどに詰めておきましょう。重さの目安は、男性で15kg、女性で10kgです。

【非常持出品チェックリスト（一例）】

備蓄食料	<input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート <input type="checkbox"/> 飲料水(目安:1人1日3ℓ) <input type="checkbox"/> インスタント・レトルト食品
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(公衆電話用の10円玉含む) <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 家の鍵 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡先リスト
避難用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(1人1台) <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 乾電池・モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 上履き <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 雨具
救急用具	<input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 持病の薬・常備薬・サプリメント <input type="checkbox"/> お薬手帳・処方箋のコピー
生活用品	<input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> ライター・マッチ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 軍手・ゴム手袋 <input type="checkbox"/> ガムテープ
衛生用品	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒液・ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> タオル

による防災対策を！！

安否確認・安全確保の協力

自分の安全が確保できたら、無理のない範囲で近隣の方々との安否確認と安全確保に協力しましょう。

地域での話し合い・自主防災組織の立ち上げ

- ・地域で防災対策を話し合い、災害時の役割分担や行動ルールを決めたり、避難時の支援が必要な方を把握するなど、協力体制を整えましょう。
- ・自主防災組織を立ち上げ、連絡体制を整備するなど、地域の防災体制を強化しましょう。
※町では、行政区を対象に自主防災組織結成のための支援を目的とした補助金制度を創設しています。

- 詳細については、総務課までお問い合わせください。
- ・防災士は、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識、技能を習得したことを日本防災士機構が認証する資格です。県では、地域における防災の担い手を育成するために、「いばらき防災大学」を開講しており、修了者は防災士試験の受験資格が得られます。町の推薦があれば、優先して講座を受講できます。
※詳細については、県防災・危機管理課または町総務課までお問い合わせください。

自主防災組織補助金制度について



いばらき防災大学について(県HP)



気象庁が発表する気象情報

種類	大雨・台風時の主な警報・注意報	内容
注意報	大雨、洪水、強風、雷	災害が発生するおそれがある。
警報	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風	重大な災害が発生するおそれがある。
特別警報	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風	重大な災害が発生するおそれが著しく大きい。

警戒レベルと町などが発令する避難情報等

災害時には、町が発令する避難情報などに注意し、**警戒レベル4(避難指示)までに必ず避難しましょう。**

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動	発令元
警戒レベル5(黒)	緊急安全確保	既に安全な避難ができず、命が危険な状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	町
警戒レベル4(濃い紫)	避難指示	速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	町
警戒レベル3(赤)	高齢者等避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	町
警戒レベル2(黄)	洪水注意報 大雨注意報等	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	気象庁
警戒レベル1(白)	早期注意情報	気象情報を確認するなど、災害への心構えを高めましょう。	気象庁

(注) 各種情報は、状況が急変することもあり、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。
町は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行います。必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が発令されるわけではありません。



【問合せ先】 総務課 防災・危機管理グループ ☎ 029-240-7125 (直通) 気象庁HP